

科目名 (科目番号)	医療保健学セミナー (052102)	教員名 本間 光彦 藤森 茜	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	グループワークでは、画像検査や放射線治療に必要な解剖学・生理学・病理学の基礎医学の知識から専門的な検査(治療)方法・正常画像解剖・画像診断まで系統的に調べ学習を行う。グループワークを通して、コミュニケーション能力を養い、発表・レポート作成のルールや要点を身に着ける。これまで学んできた専門基礎科目の復習と専門科目への円滑な接続を図ることを主な目標とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	ガイダンス	到達目標:グループワークの目的・方法、発表の仕方、レポートの書き方について確認する。 学習内容:本講義についてガイダンスを行う。				
	2	グループワーク (単純撮影、CT検査、造影検査、超音波検査)	到達目標:これまで学んできた基礎医学に関連する知識や検査の概要を復習し、分からない部分について協力して調べる。 学習内容:指定した学習範囲(例頭部の単純撮影)についてグループワークを行う。				
	3	グループワーク (単純撮影、CT検査、造影検査、超音波検査)	到達目標:グループで1報のレポートを作成する。発表はレポートの中から一番重要だと考えるところを厳選して準備を行う。グループ内の話し合いで、内容を厳選しまとめる能力を身に着ける。 学習内容:グループレポートの作成、発表の準備。				
	4	発表 (単純撮影、CT検査、造影検査、超音波検査)	到達目標:プレゼンテーション能力を身に着ける。 学習内容:グループ発表を行う。				
	5	グループワーク (放射線治療・核医学・MRI)	到達目標:これまで学んできた基礎医学に関連する知識や検査の概要を復習し、分からない部分について協力して調べる。 学習内容:指定した学習範囲についてグループワークを行う。				
	6	グループワーク (放射線治療・核医学・MRI)	到達目標:グループで1報のレポートを作成する。発表はレポートの中から一番重要だと考えるところを厳選して準備を行う。グループ内の話し合いで、内容を厳選しまとめる能力を身に着ける。 学習内容:グループレポートの作成、発表の準備。				
	7	発表 (放射線治療・核医学・MRI)	到達目標:プレゼンテーション能力を身に着ける。 学習内容:グループ発表を行う。				
	8	総括	到達目標:系統的な学習方法の大切さを理解する。発表やレポート作成のルールや要点を習得する。 学習内容:各グループの発表やレポートを振り返り総括を行う。				
成績評価の方法・基準	グループ評価[発表(20%)レポート(20%)]×2 個人評価[レポート(20%)] 発表の評価基準は講義資料として配付する。						
教科書	診療放射線技術上巻(最新版刷り) 診療放射線技術下巻(最新版刷り)			監修:小塚隆弘/稲邑清也		南江堂	
参考図書	基礎医学(解剖学ⅠⅡ・生理学・生化学で使用した教科書など)検査・治療(各モダリティの教科書や専門書)						
教員からのメッセージ	発表やレポート作成では、自分の主張を正確に伝えるためにはどのようにしたらよいか考えながら工夫して取り組んで欲しい。また既に学習した医学の知識が、診療放射線技師の仕事にどのようにつながるか、具体的な検査や治療法を調べるグループワークを通して学び、系統的な学習方法を身に着け今後役に立てて欲しい。提出されたレポートはコメント等を入れて返却します。						